



立科町ため池ハザードマップ

お問い合わせ 立科町役場 **0267-56-2311**

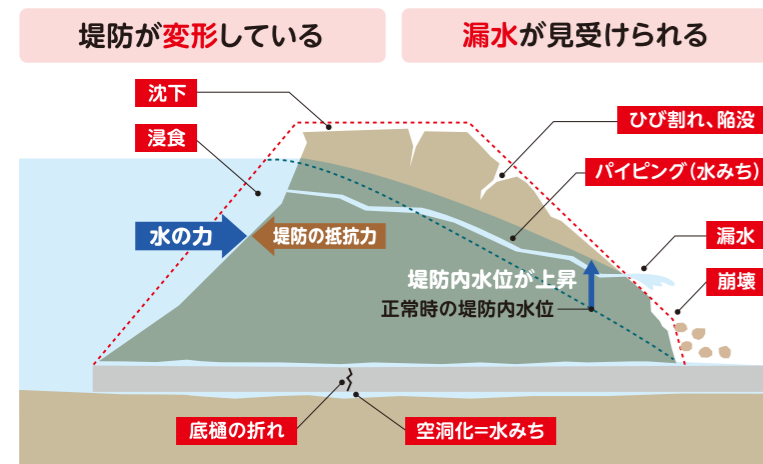
この「立科町ため池ハザードマップ」は、立科町が行った氾濫解析結果をもとに、現地踏査結果を踏まえて最大浸水深、はん濫水が到達する時間の情報及び住民の皆様が避難するために必要な情報をまとめたものです。

自分の家がため池からのはん濫想定区域に入っていないからと言って、必ずしも安全であるとは限りません。

ため池からのはん濫に備え、日ごろからこのハザードマップを活用し、家族や地域で話しあい、一人一人が避難方法や避難場所を確認しましょう。

ため池が危険なとき

ため池の決壊は、大雨や地震により発生する可能性があります。



大雨のとき

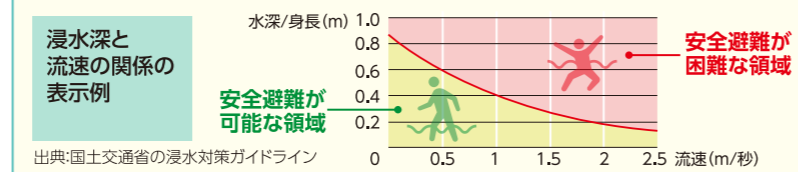
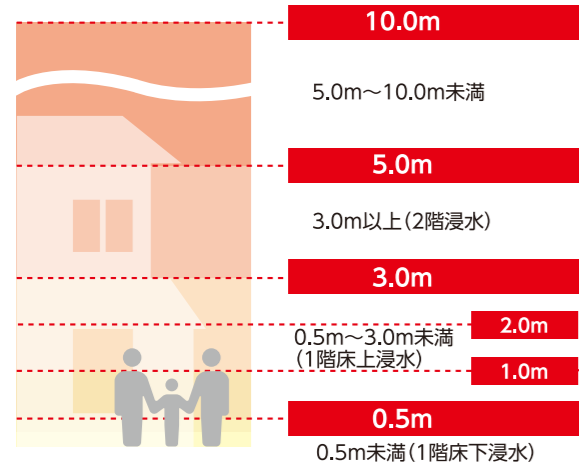
集中豪雨や長雨等により、ため池の水位が上昇し堤防に浸透する水の量が増えると、ため池決壊の危険性が高まります。また、流木などによりため池の余水吐が塞がれると、ため池が満水となり水が堤防からあふれ出して、堤防が侵食され決壊に至る恐れが更に高まります。

地震のとき

地震では、堤防に亀裂や漏水・沈下が生じる可能性があります。強度低下により水圧に耐えきれず決壊することがあります。また、その後の余震でも決壊することがあるため注意が必要です。

浸水深による分類の目安

浸水深の目安

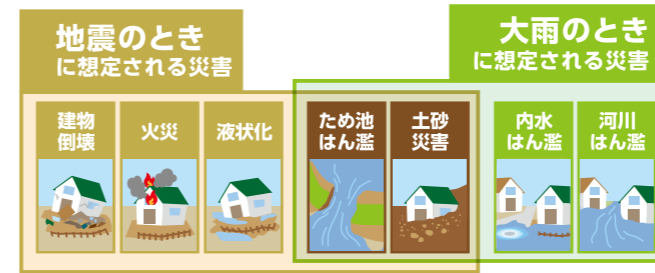


浸水の目安	流速との関係
2階の軒下まで浸水する程度	避難不可能
2階の床下まで浸水する程度	避難不可能
1階の軒下まで浸水する程度	避難不可能
大人の腰までつかう程度	流速が0.5m/秒を超えると避難不可能
大人のひざまでつかう程度	流速が1.5m/秒を超えると避難不可能

避難をするときに注意すること

ため池決壊以外の災害も意識する

ため池が決壊している状況では、周辺で下図のような災害も発生している恐れがあることに注意して避難してください。



危険な場所は避ける

避難時は安全な広い道を選ぶようにし、できるだけ狭い道や堀ぎわ・河川や水路の近くなどは避けてください。

浸水し始めたら無理をしない

歩ける水深の目安は、ひざ位までです。水深が浅くても流れが速くなると大変危険なので、無理な移動は避けてください。

垂直避難・屋内安全確保

避難移動中などで浸水が早く避難場所に行かれないときは、近くの高台や頑丈な高い建物に避難してください。また、屋内で既に移動が困難なときは、無理をせず上階に避難してください。

ため池ハザードマップの活用方法 急な事態へ備えましょう

想定される浸水区域や深さなどをチェックしましょう。

- 自宅などの場所を確認し、周辺の浸水の深さやはん濫水の到達時間を確かめましょう。
- 緊急時にも地図を確認できるように、居場所には印をつけておきましょう。



避難場所までの避難経路を考えましょう。

- 避難場所まで安全に避難できる経路を考えましょう。
- 避難場所まで実際に歩いて、移動時間を確認しておきましょう。

防災情報の入手方法を確認しましょう。

- ため池の堤防が被災すると、短時間で決壊に至る可能性がありますので、日頃から防災情報がどこで入手できるかを確認しておきましょう。
- 自動的に防災情報が配信されるサービスもありますので、活用しましょう。(防災情報メール、防災アプリなど)

避難場所を決めておきましょう。

- 浸水の深さやはん濫水の到達時間より、どこへ避難するかを決めておきましょう。
- 避難時間がなかったり、避難途中で浸水した場合に緊急避難できる場所も探しておきましょう。

日頃から家族や地域で話し合しましょう。

- 災害時に互いが協力し合えるよう、日頃から家族や地域で役割などを話し合しましょう。
- 避難の際に支援が必要な要配慮者への情報伝達方法などを決めて確認しておきましょう。

町の公表している他のハザードマップもご覧ください。

- 立科町では、様々な災害時の避難に役立つよう、ハザードマップを作成しています。このマップと併せて活用し、急な事態へ備えましょう。

わが家の防災メモ

わが家の避難場所	家族の集合場所	緊急時の連絡先	電話番号	かかりつけの病院	電話番号

非常時持出品リスト (準備ができれば□にチェックを入れましょう)

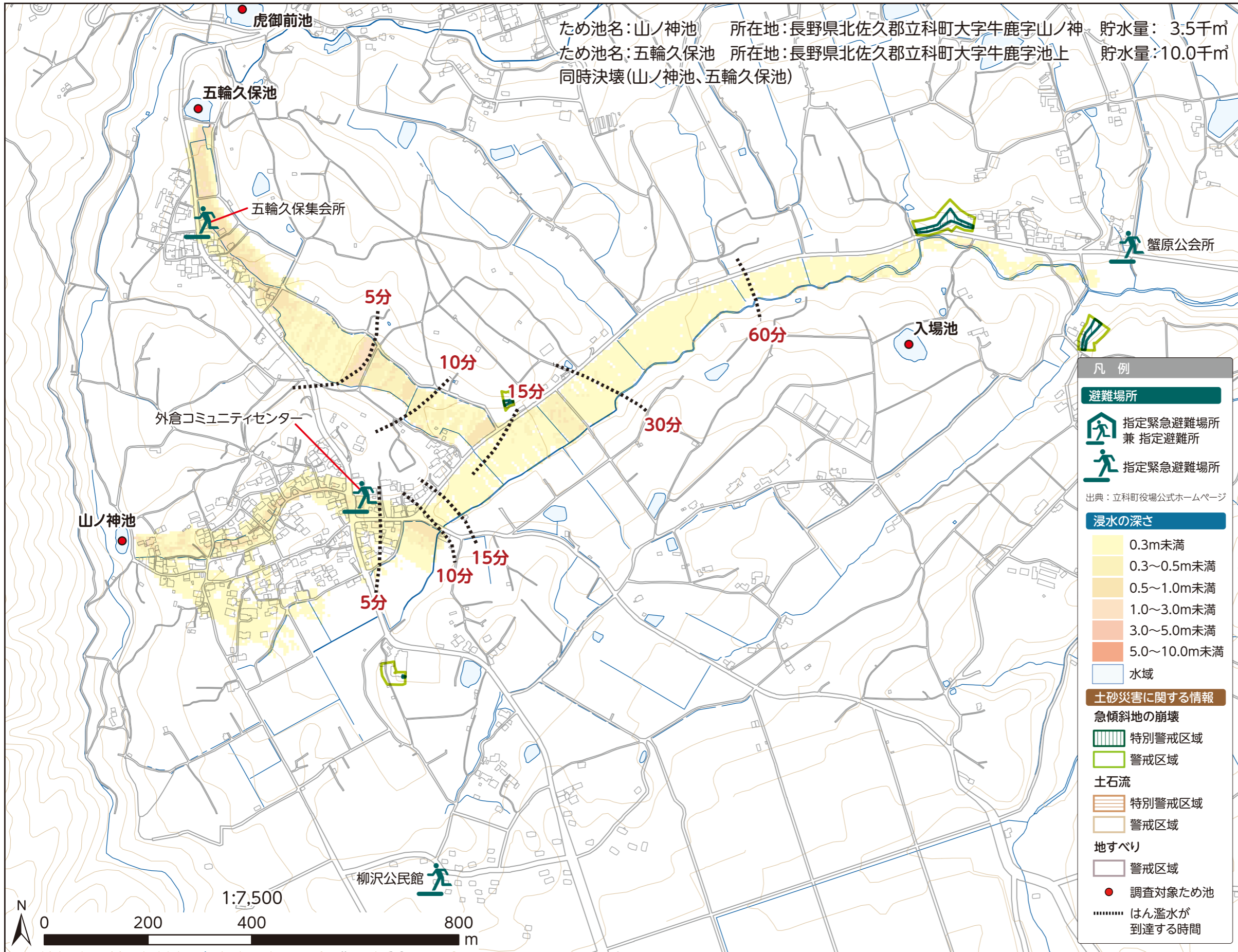
- 避難時に持出す必要最低限のものをまとめ、直ぐに取り出せる場所に保管しておきましょう。
- 貴重品・現金、預金通帳、印鑑、キャッシュカード、健康保険証、免許証など 携帯ラジオ
- 照明器具・懐中電灯、ローソク、ライターなど 非常用食品・飲料水・火を通さずに食べられるもの
- 道具類・缶切り、栓抜き、ナイフ、割り箸、ビニール袋など 生活用品・衣類、タオル、マスク、携帯電話等の充電器、筆記用具など
- 医薬品・常備薬 ヘルメット・防災頭巾・軍手 乳幼児がいる家庭・粉ミルク、哺乳瓶、おむつ、離乳食など
- 妊婦がいる家庭・脱脂綿、ガーゼ、新生児用品、母子手帳など 要介護者がいる家庭・おむつ、常備薬、障害手帳など



山ノ神池・五輪久保池

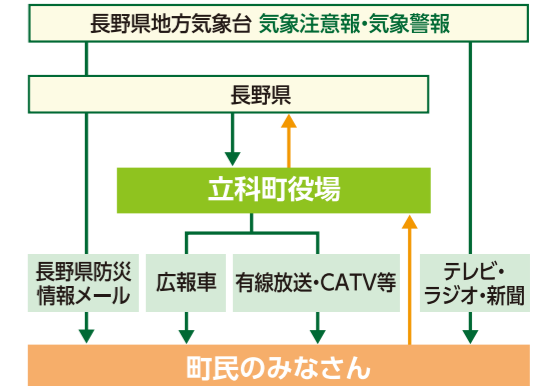
緊急時の連絡先

行政機関	佐久警察署	川西消防署	公共医療機関
立科町役場	110	119	佐久総合病院
0267-56-2311	0267-68-0110	0267-53-0119	0267-82-3131



避難情報

情報伝達の流れ



防災情報

避難に備え早めの情報収集を心がけましょう

インターネット

- 立科町緊急情報
立科町役場 TEL 0267-56-2311
<https://www.town.tateshina.nagano.jp/>
- 天気予報・台風などの一般気象情報
長野地方気象台 TEL 026-232-2738
<https://www.jma-net.go.jp/nagano/>
- 長野県防災情報
長野県河川砂防情報ステーション
<https://www.sabo-nagano.jp/res/portal.html>
- 国土交通省 川の防災情報
<https://www.river.go.jp/>
- 国土交通省 防災情報提供センター
<https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>

メール

長野県防災情報メール配信サービス
entry@mail.sabo-nagano.jp
に空メールを送り登録すると、
・大雨、洪水、大雪に関する警報・注意報
・土砂災害警戒情報
・地震(震度4以上)
を電子メール(携帯電話)にて配信するサービスです。
情報提供料は無料ですが、メール受信にかかる通信費用(パケット料金等)は利用者の負担になります。

携帯電話業者

緊急速報メール、エリアメール(登録は不要)

その他

各社 防災アプリ*

*防災アプリ:スマートフォンで緊急地震速報や豪雨予報・避難情報などいち早く情報を知ることができる防災アプリケーションをいいます。
(各社防災アプリのサイトから、ダウンロードしてください)

緊急時の情報・連絡

災害時に家族や親類などの安否を確認する方法として「災害用伝言ダイヤル」「災害用伝言板」があります。

災害用伝言ダイヤル「171」を利用

災害が発生し、電話がかかりにくい状態でも、被災地の方々の電話番号等をキーにして、伝言の録音及び再生により、被災地域内やその他の地域の方々との連絡を可能にするボイスメールサービスです。
(携帯電話からでも可能です)

携帯電話・スマートフォンの「災害用掲示板」を利用

携帯電話業者で「災害用掲示板」を無料で利用できます。通信費用(パケット料金等)は利用者の負担になります。

令和2年10月現在

発行元 立科町役場
〒384-2305 長野県北佐久郡立科町大字芦田2532
電話：0267-56-2311